

令和 7 年 3 月 10 日  
中央エフエム株式会社

### 令和 6 年度 第 2 回 放送番組審議委員会

1. 開催場所            本社スタジオ
2. 開催日時           令和 7 年 3 月 10 日(月)15:30～17:00
3. 出席者  
(審議委員) 今給黎 辰郎委員長、高田 修委員、堀内 美佳委員、  
近藤 紀代子委員、齊藤 大地委員  
委員総数 5 名 のうち出席委員数 4 名(うち1名はオンライン)  
\* 欠席者: 堀内委員(事前にコメントご提出済)  
(中央エフエム出席者)  
代表取締役社長 岩寄いづみ／中田永一

### 委 員 会 次 第

1. 開催のご挨拶(中央エフエム 岩寄より)
2. 委員のご紹介・ご挨拶
3. 審 議: 審議番組名:「あなたの声で伝えよう! ラジオで語る中央区の文化とその魅力」  
(2024 年 12 月 5 日(木) 0A)
4. 内容:  
■中央区／中央区文化・国際交流振興協会が開催する  
「第 17 回 中央区まるごとミュージアム2024」において、事前募集イベントとして弊局企画にご応募くださった方々が「中央区の魅力語る」  
**実施日時:2024 年 11 月 10 日(日)**  
A コース:10:00-12:00      B コース:14:00-16:00  
**A コース**:小学生 1 名とその保護者 1 名  
**B コース**:中学生以上 1 組 2 名まで  
\* 中央区在住者に限らず「中央区が大好き! 中央区の魅力をラジオで伝えたい方」  
\* 事前に 5 分以内の予定原稿をお送りいただける方
5. 番組概要:  
区政 77 年を迎える中央区。人口は 18 万人を越え、今後予測では 20 万人に達する日も近いとのこと。このような発展を遂げる中央区の魅力を様々な視点から語っていただき、ラジオ発信する企画。1 組 5 分間という限られた時間の中で「はあがあるが、ラジオを通して「中央区愛!」を伝えていただく番組として仕立て、収録。

後日、特別番組として12月5日(木)12:00～13:00「Hello Radio City」1時間 特番として放送。  
(再放送 同日 18:00～19:00)

6. イベント番組参加者:

Aコース 2組(区内在住 小学生と父親 / 文京区在住 小学生)

Bコース 2組(区内在勤 女性 / 江東区在住 女性)

7. イベント番組参加者からのコメント:

＜感想＞

初めてラジオ録音体験が出来て良かった。

話し方についてもアドバイスがあり勉強になった。

マイクに向かって話しをするのが楽しかった。

ラジオで自分の声を流せてうれしい。

＜今後やって欲しい番組企画・その他の要望＞

スタートアップ企業を招いて紹介するもの

ミキサーを操作する体験

中央区の良いところを沢山発信して欲しい

子どもも楽しく笑える番組

8. 総括:

「中央区まるごとミュージアム」でスタジオを解放してのイベント参加は今回が初めてでしたが参加者の皆さんがことのほか、スタジオの立地や局内の掲示物、ミキサーなどに関心を示して下さい、ラジオ局のことをもっと知りたいとの感想を頂けたことが有難かった。

このタイミングで新たな局ステッカーを作った。これが好評で、今後、年1回新たなバージョンを製作する予定。

この機会に「防災ラジオ」としての役割についても概略をお伝えできたことも有意義であった。

参加者の方々の中央区愛を改めて実感できた貴重な企画であり、今後もこうした試みを実施し、若い世代にもラジオを聴いてもらってその魅力、楽しさを実感していただける局でありたいと感じた。

・・

＜番組審議内容・各委員からの講評＞

【今給黎委員長】

- ・リスナー参加型の番組として新鮮に感じた
- ・いきなり区民の方がメインパーソナリティになるというのはハードルが高いと思うので、ゲストとして出演していただくのがいいと思う
- ・イベントをフォーマット化しておくと思えば今後に活きると思う
- ・参加型番組における3つのキーワード「素の良さ」「関係性を耕す」「しぶとく待つ」
- ・長い時間をかけてファンとの関係性を耕して欲しい
- ・今回の番組は、「その入口」になったかと思う

【近藤委員】

- ・初めてのパーソナリティ体験として皆さんキレイにまとまりすぎていて、あまり印象深く頭に入ってこなかった。
- ・複数人でディスカッション形式で話した方が、その人ごとの面白い部分が引き出せると思う。
- ・中央区は魅力的だなと改めて思う。今後の薦重など尽きないネタを活かしてほしい

【高田委員】

- ・小学生の子の話し方が上手だった。(出来すぎじゃないかと思うところもある)
- ・参加者としては原稿の準備が大変だと思うが、達成感はあると思う。貴重なイベントだと思う。
- ・参加型の番組というのはコミュニティラジオ局だからこそ
- ・1人限定の参加型イベントもあっていいかもしれない
- ・ミキサーなど制作の面の体験も良さそう

【斎藤委員】

- ・タイトルコールがとてもキャッチーだと感じた
- ・もう少し、メインパーソナリティ(JUMI)の声があったほうが良いなと思う
- ・素人さんだからこそ、素の部分を引き出してもいいと感じた
- ・子ども達をまき込んで、身近なラジオ局であってほしい

【堀内委員】(書面にて)

- ・皆さんとても聴きやすい声、話し方でそれでいて個性たっぷり、もっと聴きたいと感じた
- ・気になったのは、話している人がどんな人なのかが分かりにくかったこと。

初めに「親子です」、とか「中学生です」など大まかなパーソナリティの紹介があるとより理解がスムーズだったかなと感じた。

以上